

フェロモン剤一覧

| 薬剤 | 種類名 | 作用 | 作物 | 適用害虫 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 |
|-----------|--|------|---------------------|--|---|--------------------------|--|
| ケブカコン | ダイシルア剤 | 交尾阻害 | さとうきび | ケブカアカチャコガネ | 625m/10a(100g/100m製剤) | 成虫発生初期から終期 | 支柱等を用い地上から50cm以下の位置にロープ状の製剤を張り渡し設置する。 支柱等を用い地上から50cm以下の位置にロープ状の製剤を畝と直交に張り渡し設置する |
| | | | | | 62.5～125m/10a(125g/25m製剤) | | |
| コナガコン | ダイアモルア剤 | 交尾阻害 | コナガ、オオタバコガが加害する農作物等 | オオタバコガ コナガ | 露地 200本/10a(20cmチューブ) 露地 100～110m/10a(100mリール) | 加害作物栽培の全期間 | 適当な長さの支柱等に取り付け、圃場に配置する。 株上に沿い、作物上に支柱等を用いて固定する。 |
| | | | | コナガが加害する農作物等 | コナガ | | |
| | | | コナガ、オオタバコガが加害する農作物等 | | | オオタバコガ コナガ | 20～40m/10a(22g/20m製剤) |
| | | | | コナガ、オオタバコガ、ヨトウガが加害する農作物等 | オオタバコガ コナガ ヨトウガ | 100～120本/10a(22g/100本製剤) | 対象作物の栽培全期間 |
| コンフューザーAA | アリマルア ・オリフルア ・トートリルア ・ピーチフルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | ナシヒメシンクイ モモシンクイガ キンモンホソガ リンゴモンハマキ リンゴコカクモンハマキ ミダレカクモンハマキ | 120～150本/10a(52g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | ディスプレイを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。 |
| コンフューザーMM | オリフルア ・トートリルア ・ピーチフルア ・ピリマルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | ナシヒメシンクイ モモシンクイガ モモハモグリガ リンゴコカクモンハマキ チャノコカクモンハマキ | 100本～120本/10a(55g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | ディスプレイを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。 |
| | | | | | 120本/10a(55g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | |
| コンフューザーN | オリフルア ・トートリルア ・ピーチフルア剤 | 交尾阻害 | すもも | スモヒメシンクイ モモシンクイガ リンゴモンハマキ リンゴコカクモンハマキ チャハマキ チャノコカクモンハマキ ナシヒメシンクイ | 200本/10a(52g/200本製剤) | 成虫発生初期から終期 | ディスプレイを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。 |
| | | | | | 150～200本/10a(52g/200本製剤) | 成虫発生初期から終期 | |
| | | | | | 50～200本/10a(52g/200本製剤) | 成虫発生初期から終期 | |
| コンフューザーR | オリフルア ・トートリルア ・ピーチフルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | ナシヒメシンクイ モモシンクイガ リンゴモンハマキ リンゴコカクモンハマキ ミダレカクモンハマキ | 100～120本/10a(36g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | ディスプレイを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。 |
| コンフューザーV | アルミゲルア ・ウフバルア ・ダイアモルア ・ビートアーミルア ・リトルア剤 | 交尾阻害 | 野菜類 | シロイチモジヨトウ | 100本/10a(41g/100本製剤) | 対象作物の栽培全期間 | 作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスプレイを巻き付け固定し圃場に配置する |
| | | | いも類 | | | | |
| | | | 花き類・観葉植物 | | | | |
| | | | 豆類(種実) | | | | |
| | | | 野菜類 | | | | |
| | | | いも類 | | | | |
| | | | 花き類・観葉植物 | | | | |
| 豆類(種実) | | | | | | | |
| シンクイコン | ピーチフルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | ハスモンヨトウ オオタバコガ コナガ タマナギンウワバ ヨトウガ イラクサギンウワバ | 100本～150本/10a | 成虫発生初期から終期まで(5月～11月) | 本剤を枝に巻きつけ固定する |
| | | | | | | | |
| シンクイコン-L | ピーチフルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | モモシンクイガ | 100本/10a(13g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | ディスプレイを対象作物の枝に巻き付け設置する。 |
| | | | キウイフルーツ | キクビスカシバ | 100本/10a(8g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | ディスプレイを対象作物の枝に巻き付け設置する。 |

| | | | | | | | |
|------------------|------------|------|-------------------------|---|---|------------------|--|
| スカシバコンL | シナンセルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | コスカシバ | 40～100本/10a(8g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | デイスパenserを対象作物の枝に巻き付け設置する。 |
| | | | 食用さくら(葉) さくら | | | | |
| ナシヒメコン | オリフルア剤 | 交尾阻害 | かき | ヒメコスカシバ | 40～100本/10a(8g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | デイスパenserを対象作物の枝に巻き付け設置する。 |
| | | | すもも 果樹類 | スモモヒメシクイ ナシヒメシクイ | 50～100本/10a(23g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | デイスパenserを対象作物の枝に挟み込み、また |
| ノシメシャット バナライン | ビートアーミルア剤 | 交尾阻害 | 貯蔵穀物等 | ノシメダラメイガ | 100m/1000m ² | 対象害虫発生初期から終期 | 倉庫内の壁際や柱に張り渡す |
| ハマキコンーN | トートリルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | リンゴモンハマキ リンゴコカクモンハマキ ミダレカクモンハマキ チャハマキ チャノコカクモンハマキ | 100～150本/10a(54g/150本製剤) | 成虫発生初期～終期 | 本剤を枝にかける |
| | | | 茶 | チャハマキ チャノコカクモンハマキ | 150～250本/10a(90g/250本製剤) 30～50m/10a(54g/30m製剤) | 成虫発生初期～終期 | 本剤を枝にかけるまたはロープ状製剤の場合、支柱等を立て、対象作物の上部に張り渡す。 |
| ヘタムシコン | マシニツサルア剤 | 交尾阻害 | かき | カキノヘタムシガ | 90本/10a(7.38g/90本製剤) | 成虫発生初期から終期 | デイスパenserを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。 |
| | | | | | 100本/10a(9.3g/100本製剤) | | |
| ボクトウコンーH | コッシンルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | ヒメボクトウ | 100～150本/10a(16g/100本製剤) | 成虫の発生初期から終期 | デイスパenserを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。 |
| ヨトウコンーH | リトルア剤 | 交尾阻害 | ハスモンヨトウが加害する農作物 | ハスモンヨトウ | 20～200m/10a(20cmチューブの場合100～1000本) | 成虫発生初期から終期まで | 露地(作物上に支柱等を用いて固定する)施設(施設内上部に固定する、又は枝等に巻き付ける) |
| ヨトウコンーI | インフェルア剤 | 交尾阻害 | 飼料用さとうきび さとうきび | イネヨトウ | 20m/10a(27g/20m製剤) | 成虫発生初期から終期 | 支柱を立てロープ状の製剤を対象作物の上部 |
| ヨトウコンーS | ビートアーミルア剤 | 交尾阻害 | シロイチモヨトウが加害する農作物 | シロイチモヨトウ | 露地の場合 100～500本(20cmチューブ)/10a ハウスの場合 100～140m(20cmチューブの場合は500～700本)/10a | シロイチモヨトウの発生初期～終期 | 作物上に支柱等を用いて固定する。 |
| | | | | | | | |
| ラブストップヒメシン | オリフルア剤 | 交尾阻害 | 果樹類 | ナシヒメシクイ | 150～200粒/10a | 成虫発生前から終期 | 設置容器に入れた本剤を対象地域の枝等に設置する |
| オキメラコン | オキメラノルア剤 | 交尾阻害 | オキナワカンシャクシコメツキが加害する農作物等 | オキナワカンシャクシコメツキ | 61～100本/10a(17g/100本製剤) | 成虫発生初期から終期 | 支柱を立て、ロープ状のデイスパenserを対象作物の上部に張り渡す又は空中散布。 |
| オキメラノール | オキメラノルア剤 | 誘引 | さとうきび | オキナワカンシャクシコメツキ | 1個/1～1.5ha | 成虫発生初期～発生終期 | 本剤1個を取り付けたトラップを1～1.5ha当り1個設置する。 |
| カシナガコール | ケルキボルア剤 | 誘引 | なら類(生立木) | カシノナガキイムシ | 8個/10a(2個/樹) 2個/集積 | 春季～夏季 | 本剤を生立木に設置する。 本剤を集積した伐倒木に設置する。 |
| | | | なら類(伐倒木) | | | | |
| サキメラノール | サキメラノルア剤 | 誘引 | さとうきび | サキシマカンシャクシコメツキ | 1個/1～1.5ha | 成虫発生初期～発生終期 | 本剤1個を取り付けたトラップを1～1.5ha当り1個設置する。 |
| ニトルアー<アメシロ> | フォールウェブルア剤 | 誘引 | 樹木類 | アメリカシロヒトリ | 直線使用(街路樹など)40mあたり1個以上 面使用(公園など)10aあたり3個以上 | 成虫発生初期～発生後期 | 本剤をトラップ1台あたり1個貼付け、地上1～6m |
| フェロディンSL | リトルア剤 | 誘引 | ねぎ類 | ハスモンヨトウ雄成虫 | 2～4個/ha | 成虫発生初期から発生終期まで | 本剤をトラップ1台当り1個取付けて配置する。 取付けた薬剤は1.5～2ヶ月間隔で更新する。 |
| | | | れんこん | | | | |
| | | | レタス | | | | |
| | | | 豆類 | | | | |
| | | | まめ科牧草等 | | | | |
| | | | いも類 | | | | |
| | | | にんじん | | | | |
| | | | たばこ | | | | |
| | | | いちご | | | | |
| | | | なす科野菜 | | | | |
| あぶらな科野菜 | | | | | | | |